

特集**大阪ステーションシティで観望会！**

成田直（川西市立北陵小学校/黄華堂）、有本淳一（星のソムリエ京都/黄華堂）
藤原雅二（星のソムリエ京都）、和田浩一（星のソムリエ京都）、斉藤秀樹（京都大学）
野口亮（大阪教育大学）、小倉和幸（大阪教育大学）、他 OSC 観望会 PT

1. はじめに

2011 年 5 月 4 日に開業したばかりの、今関西で話題のスポット「大阪ステーションシティ」で観望会を行いました。大阪ステーションシティとは、JR 大阪駅のいわば巨大な駅ビルです。駅の上には百貨店やホテル、商業施設や事務所、そして今回会場として利用した広場などがあり、名前の通り駅でありながらさながら一つの街のような様相を呈しています。

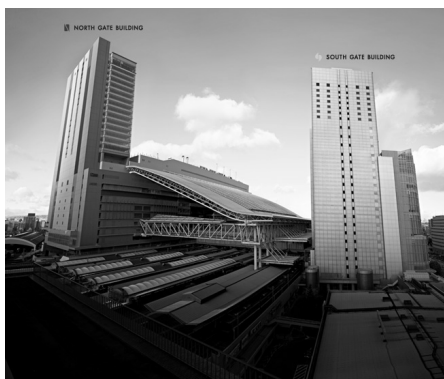


図 1 大阪ステーションシティ

開業してまだ1年も経過していないこともあり、この施設を使つての観望会は初めてのことでした。また企画した私自身もこのような場所で観望会を行うのは初めてでした。そのためいろいろと見通しを持って臨むことが難しく、思考錯誤しながら、また各方面にいろいろと迷惑をおかけしながらの開催でしたが、終わってみると大変好評をいただけたようなので、今回はその報告をします。

2. 実施形態

初めに決めたのは日時でした。月齢と木星の位置に合わせて 2011 年 12 月 4 日(日)【月齢 8】に開催することにしました。

次にスタッフです。これは黄華堂、星のソムリエ京都、京都大学、大阪教育大学の協力を得ました。スタッフの人数は約 30 人。どれくらいの人がこの観望会に来てくれるのかが見えない中でのスタートでしたが、結果としてこのスタッフ数は今回の規模にはぴったりだったと言えるでしょう。

そして観望会の流れですが、スタッフの個性を活かしながら、かつ会場の混雑具合も解消する方法として 3 つのセッションに分け、参加者にはそれを順に回っていただくという形をとりました。つまり、初めに星のソムリエ京都のみなさんから「今日の星空」についてのお話、続いて星のソムリエ京都や黄華堂のメンバーによる望遠鏡を実際に覗きながらの解説、最後に学生による「天文トピック」や「最新の研究結果」といった話題性のあるお話を聞くといった流れです。

3. 広報について

初めての開催ということで、どれほどのニーズがあるのかわからない状態ですからどこも大きく採り上げて報じてくれることはありません。

大阪ステーションシティにお願いして JR 西日本の記者クラブである「青灯クラブ」に情報を流してもらいましたが、今回は取材依頼は来ませんでした。

あとはアストロアーツと大阪ステーション

シティのイベント紹介の web ページへの掲載依頼、大阪ステーションシティのマンスリーガイドへの原稿投稿ぐらいです。



図2 告知記事が載ったマンスリーガイド

その他は個人による地道な広報活動です。関係しそうなメーリングリストや twitter、Facebook などでは情報を広めました。またこの一週間前に京都産業大学で行われた当会近畿支部会でも告知させていただきました。

4. 当日の様子

当日は観望会には珍しく(笑)天候に恵まれ、月も木星も雲に邪魔されることなく観望することができました。

会場は大阪駅の上ということで周りに高いビルがたくさん立っているロケーション。しかし、南側は意外と視野が開けていて、この日の月や木星の観望には何の影響もありませんでした。

「今日の星空セクション」では、星のソムリエのみなさんが実際の空で星空案内。星のソムリエのみなさんにとっても貴重な実践の場です。月と木星の話だけでなく、望遠鏡について、見えている星座についてなどいろいろな話題で参加者の興味をくすぐってくれま

した。このセクションは次の観望セクションの混雑具合を調整する役割も担い、自在にお話の長さを変えて臨機応変に対応してもらいました。



図3 準備風景
東の方角に高いビルが見える



図4 星のソムリエさんによるお話

「観望セクション」では、実際に望遠鏡で月と木星を眺めながら、スタッフと参加者で楽しく会話をしているような、そんな雰囲気で行われました。



図5 観望セクションの様子

最後の「宇宙のお話セクション」では、大学院生が自分の研究テーマを中心にスライドを使って話してくれました。ここは興味のある人だけが聞いてくれればよいというラフな位置づけで設置したのですが、ほとんどの参加者が足を止めてくださり、中にはうなずきながら話に聞き入っている様子も見られました。



図6 大学院生による最先端の研究のお話

最後に、出口のところで参加者に観望証をお渡しし、帰っていただきました。



図7 参加者にお渡しした観望証

5. おわりに

3時間実施して、参加者数は244名に上りました。参加者のみなさんには好評だったので、「次はいつやるの?」といった質問を受けました。今の段階で次の開催日は決まっていますが、開催場所を提供して下さった大阪ステーションシティにも「これだけお客様に喜んでいただけたのなら今後も継続的に開催を。」という言葉をいただいています。必ず、第2回を開催したいと思います。

また今回は大きなトラブルはなく行うことができましたが、なんせ初めての試みだったので実際にやってみるといろいろと細かい課題は見つかりました。今後、スタッフの間で反省点を洗い出し、課題を共有して次回に向けて議論していくつもりです。

反省の例をひとつ挙げると、今回はアンケート等を実施しなかったのが、いろいろと広報活動を行った中でどの効果が高かったのかわかりません。個人的な感覚だと事前に情報を知って来て下さったというよりも当日たまたま通りかかって参加したという方が多かったように思います。今後は適切な広報ができるようにそういったところも調査していきたいと思います。

こうした活動を行うことで、星空は特別な場所に行かなければ見ることができない遠い存在のものではなく、誰にとってももっと身近にあるものなんだということを多くの方に感じてもらえればと思っています。

参 考

- [1] 大阪ステーションシティ
<http://osakastationcity.com/>



代表執筆 成田直